



2021年5月13日号
港南区・栄区版

日野中央公園 手作りバラ園、満開

文化

港南区の日野中央公園にある「手作りバラ園」の各品種が見ごろを迎えている＝写真（5月8日撮影）。



同公園には四季咲きバラやつるバラ、イングリッシュ・ローズなど約40種の色とりどりのバラが100本程植えられている。公園の管理作業を行う横浜緑地・アライグリーンパートナーズの職員とボランティア「日野中央スマイリングパートナー」が2014年からバラ園の整備をはじめ7年が経過。

今年は例年よりバラの開花が早かったというが、日野洋光台線に面した入り口付近と野球場3塁側脇の植栽にピンク色や黄色、白色、赤色などのバラが咲き誇っている。園内を散策していた石渡さえ子さん（80）と青池恭子さん（80）は「今年も咲いたね」と笑顔を見せていた。

地域情報紙『タウンニュース』の5月13日発行号に当社の共同管理をさせていただいている「日野中央公園」の手作りバラ園、満開の情報が掲載されました。ボランティアの方々と一緒に整備をはじめて7年目のバラ園が今年は例年より早い見頃を迎えました。「シャーロット・オースチン」や「デザートピース」「ラ・フランス」「アイペイント」「メモアール」「はまみらい」合わせて約40種約100本のバラが咲いています。毎年4月～6月が見頃です。5月は、「ヤマボウシ」も見頃です。5月から6月にかけては約100本の「アジサイ」も見頃を迎えます。

